

たべる

き あ なかま あつ いっしょ の た
気の合う仲間が集まって、おしゃべりをしながら一緒に飲んだり食べたり
するの楽しいものだ。あるとき、こんなことがあった。みんなで料理を作
っているとき、ひとりがトマトの皮を剥いてお皿に並べ始めた。すると、ほかの人
が「あなた、トマトは皮を剥かないものよ」と言った。そう言いながら、そ
の人は包丁片手にキュウリの皮を剥いている。「あら、私の家ではキュウリ
の皮は剥かないわ」とトマトの皮を剥いた人は言う。それからしばらく、剥く、
剥かない、どちらが正しい、正しくない、みんなが言い始めて、料理の手は
すっかり止まってしまった。結局「こんな小さなことでもいろいろ違うもの
ね」で、この騒ぎは終わった。

じぶん いま た かた りょうり かた ちが おも
自分の今までやってきた食べ方、料理のし方と違えば、すこしおかしいと思
うのは当たり前のことだが、その理由をよく考えてみると、ただ慣れていな
いだけということが多い。最初は変だと思っても口にしてみると、思ってい
たよりおいしかったということもよくある。

せかいじゅう たび ひと とち ひと し あ
世界中を旅している人にどうしたらその土地の人と知り合いになれるのか
と聞いてみると、「片言でもいいから、その人たちの言葉を話し、一緒にお
なか一杯食べ、飲むことだ」という答えが返ってきた。世界は広いのだから、

トマトの皮を剥く人も剥かない人もいる。皮がついているかいないかは問題
ではなく、それよりも、同じテーブルを囲んで、飲み、食べ、一緒に笑うこ
とが大切だ。そうすれば、特別な努力をしなくても、いい友達を作ることが
できるということなのだろう。